

広島トヨペット様からトラックの寄贈を受ける

この度、広島トヨペット株式会社様より広島大学体育会自動車部にタイタン低床ワイド2 tトラック（初年度登録平成19年、54,300km走行）の寄贈を受けました。

去る4月22日、広島トヨペット様の本社で贈呈式があり、古谷社長、章子夫人（自動車部昭和41年入学）、藤川専務（河野副会長の広島電気大学での教え子）はじめ8名の役員と自動車部側からは桂会長、河野副会長、現役の原主将、広報担当中村君、競技担当の安藤君が出席しました（鳥越部長は所用があり欠席）。

この経緯は、平成24年2月に行われた体育会同窓会総会に出席されていたOGの古谷章子さんに河野副会長が競技車両の運搬用トラックに困っているのを広島トヨペット（株）様から寄贈してもらえないかとお願ひしました、その時、章子夫人は社長に話してみようということでした。また、藤川専務にも河野副会長が直接お願ひしました。その後広島トヨペット様社内では夫人の強い要望もあり役員会で了承されました。車種選定では普通運転免許で運転できるという条件に合う車はタイタンしかなく、マツダの販売店から広島トヨペット様が購入して、車検等の諸手続きを終え贈呈の運びとなりました。

自動車部ではこのような時のために従来より貨物車購入金を積立てて来ましたが、何時の頃からか実質的には日常の運営資金と財布が一つになって流用されてしまい費目はあるが残高なしの状況になっていました。

そこで今回登録諸費用等として、自動車部同窓会より50万円を支払いました。これで同窓会会計はほとんど底をつき、近いうちに平成24年度同窓会費ならびに寄付金をお願いしますのでよろしくお願ひします。

今までのタイタンは平成4年が初年度登録で走行距離23万km、故障が頻発し長距離の運転には常に不安でした。この度、贈呈式の日を持ち込んで新旧タイタンを交換するという事になっていましたが、贈呈式1週間前に練習のために世羅町のグリーンパーク弘楽園に競技車両を運搬して、そこでウオーターポンプの軸が焼き付き動かなくなりました。自前で修理をする努力をしたが手違いもあり交換部品が届かず贈呈式までに修理が間に合いませんでした。

仕方なく後日、広島トヨペット様が引き取りに行かれるということで話がつきました。どこまでもトヨペット様に迷惑をかけてしまったというのが実態です。残念！！

お陰で当分競技車両運搬車の心配はなくなりました。現役の奮起を大いに期待します。

（当日の写真添付）

経理担当副会長 河野健次